

平成23年度

## 自己評価及び外部評価結果

### 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1493400178	事業の開始年月日	平成21年4月1日	
		指定年月日	平成21年4月1日	
法人名	株式会社アイシマ			
事業所名	グループホームほのぼの			
所在地	( 246-0023 ) 神奈川県横浜市瀬谷区阿久和東4-32-3			
サービス種別 定員等	小規模多機能型居宅介護	登録定員	名	
		通い定員	名	
		宿泊定員	名	
	認知症対応型共同生活介護	定員計	18	名
		ユニット数	2	ユニット
自己評価作成日	平成23年10月20日	評価結果 市町村受理日	平成24年2月1日	

事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先	<a href="http://www.kaigo-kouhyou-kanagawa.jp/kaigosip/infomationPublic.do?JCD=1493400178&amp;SCD=370">http://www.kaigo-kouhyou-kanagawa.jp/kaigosip/infomationPublic.do?JCD=1493400178&amp;SCD=370</a>
----------	---

### 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

当ホームは株式会社アイシマが運営し、平成21年4月1日に開設されました。医療連携体制が整っており、主治医や看護師の訪問も毎週あり、安心して暮して頂けるホームです。又、日常生活では外出支援も行き届き、行きたい所へ食事や散歩に出掛け、利用者が地域の中でその人らしく暮していけるよう支援する仕組みが整っています。地域の方々との繋がりを大切に、近隣小学校との交流は利用者様の楽しみの一つです。運動会では生徒と一緒に瀬谷音頭を踊りました。又、お元気な利用者様はボランティア活動に喜びを感じ、いくつかの他のホームを訪問し、「瀬谷音頭」を広めています。外部の方々との交流は生きがいで元気の源になっています。今後も地域に溶け込み、明るく元気なホームとして頑張ってお参ります。

### 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	株式会社フィールズ		
所在地	251-0024 神奈川県藤沢市鶴沼橋1-2-7 湘南リハウスビル4階		
訪問調査日	平成23年11月29日	評価機関 評価決定日	平成23年12月11日

### 【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点(評価機関記入)】

「グループホームほのぼの」は瀬谷区阿久和の静かな住宅街の中にあります。原小学校の正門に面していて、登下校時の子ども達と触れ合い、校庭の季節の花を楽しむことができます。ホーム理念は「利用者の気持ちに寄り添い、自信や笑顔につながる生活をめざします」「支え合いと学び合いより、厚い信頼関係を育てます」「地域やご家族との結びつきを大切にします」です。

<優れている点>  
職員は利用者に絶えず問いかけ、話しかけ、利用者自身の思いを素直に表現できるよう働きかけています。また、その人の特技や得意なことを引き出すことにも力を入れ、それを法人の他事業所との交流「ボランティア」や夏祭りで発表する機会を設け、利用者が目標をもって生き生きと生活できるよう支援しています。職員は地域住民に積極的に挨拶を交わし、夏祭りや旅行などの地域行事に参加して地域と良好な関係を築いています。地域からも地域の施設として認められ、野菜や花をもらったり、気楽に立ち寄りしたりする関係ができています。今年度は、利用者全員が浴衣を着て夏祭りに出かけ、「瀬谷音頭」を踊りました。また、原小学校の子ども達とも交流しています。

このような取り組みを通してグループホームは理念を実践しています。今後も様々な取り組みを継続し、積み上げることによりホームが目指す「当たり前の生活がずっと継続するケア」が実践されることが期待できます。

### 【地域密着型サービスの外部評価項目の構成】

評価項目の領域	自己評価項目	外部評価項目
理念に基づく運営	1 ~ 14	1 ~ 7
安心と信頼に向けた関係づくりと支援	15 ~ 22	8
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	23 ~ 35	9 ~ 13
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	36 ~ 55	14 ~ 20
アウトカム項目	56 ~ 68	

事業所名	グループホームほのぼの
ユニット名	のぞみ

アウトカム項目	
56 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23,24,25)	1, ほぼ全ての利用者の
	2, 利用者の2/3くらいの
	3. 利用者の1/3くらいの
	4. ほとんど掴んでいない
57 利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18,38)	1, 毎日ある
	2, 数日に1回程度ある
	3. たまにある
	4. ほとんどない
58 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	1, ほぼ全ての利用者が
	2, 利用者の2/3くらいが
	3. 利用者の1/3くらいが
	4. ほとんどいない
59 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36,37)	1, ほぼ全ての利用者が
	2, 利用者の2/3くらいが
	3. 利用者の1/3くらいが
	4. ほとんどいない
60 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	1, ほぼ全ての利用者が
	2, 利用者の2/3くらいが
	3. 利用者の1/3くらいが
	4. ほとんどいない
61 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30,31)	1, ほぼ全ての利用者が
	2, 利用者の2/3くらいが
	3. 利用者の1/3くらいが
	4. ほとんどいない
62 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	1, ほぼ全ての利用者が
	2, 利用者の2/3くらいが
	3. 利用者の1/3くらいが
	4. ほとんどいない

63 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9,10,19)	1, ほぼ全ての家族と
	2, 家族の2/3くらいと
	3. 家族の1/3くらいと
	4. ほとんどできていない
64 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9,10,19)	1, ほぼ毎日のように
	2, 数日に1回程度ある
	3. たまに
	4. ほとんどない
65 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	1, 大いに増えている
	2, 少しずつ増えている
	3. あまり増えていない
	4. 全くいない
66 職員は、活き活きと働いている。 (参考項目：11,12)	1, ほぼ全ての職員が
	2, 職員の2/3くらいが
	3. 職員の1/3くらいが
	4. ほとんどいない
67 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	1, ほぼ全ての利用者が
	2, 利用者の2/3くらいが
	3. 利用者の1/3くらいが
	4. ほとんどいない
68 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	1, ほぼ全ての家族等が
	2, 家族等の2/3くらいが
	3. 家族等の1/3くらいが
	4. ほとんどいない

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>理念に基づく運営</b>					
1	1	<b>理念の共有と実践</b> 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	入職時に理念を理解してもらい、理念に添ったケアを行うことの確認をしています。また問題点が出た時には、その都度、ミーティングを行い、意思を確認し、改善すべき点は、速やかに改善しています。	事務所にグループホーム理念、法人理念を掲示するとともに、ミーティングで確認し周知しています。また、具体的な年度ごとの目標を設定し、ケアの場面で実践しています。今年度の目標は「個別ケアの充実化～一人一人の希望に沿い満足して頂ける生活を目指す～」です。	
2	2	<b>事業所と地域とのつきあい</b> 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	アイシマ主催のふれあい祭りには、ご近所の方が来て下さり、ホームも地域の敬老会、運動会、町内の旅行等に参加しています。原小学校2年生の授業では、当ホームとの交流があり、子供達が気軽に来てくれます。ご近所の方も将棋をさしに来られます。	利用者は地域住民と挨拶や立ち話をしたり、野菜や花をもらったりと「普通の近所づきあい」をしています。原小学校の子ども達とも交流しています。今年度の夏祭りでは地域の方たちから寄贈された浴衣を着て「瀬谷音頭」を踊りました。来年はやくらの上で踊るのが目標です。	
3		<b>事業所の力を活かした地域貢献</b> 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	原小学校の生徒さんには発表の場として提供したり自治会関係の方には高齢者や認知症への理解を深めたり、支援の方法の発信を行っています。		
4	3	<b>運営推進会議を活かした取組み</b> 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議での意見等は、おおいに参考にさせて頂き、又今後の課題に対しては前向きに取り組んでいます。会議では地域に飛出し、利用者に生きがいを感じてもらおう試みとして、ボランティア活動を行っている事を発表しています。	2ヶ月に1回、運営推進会議を開催していて、利用者、家族、地域包括支援センター、自治会、民生委員が参加しています。ホームの活動の様子を発表するとともに、地域の情報交換やグループホームへの要望など、活発な意見交換が行われています。	
5	4	<b>市町村との連携</b> 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	運営推進会議にて、地域包括センターの職員に利用者の実情を見ていただき、ご相談や意見をお聞きし、ホームの運営に役立てています。今年は盆踊りに着る浴衣の調達をお願いし、利用者様は浴衣で盆踊りに参加しました。	地域包括支援センター、瀬谷区役所とは日常的に連携しています。また、旭・瀬谷グループホーム連絡協議会の研修会や交換研修に参加しています。今年度は、横浜市主催の市民向けの勉強会で、ホーム長が地域の夏祭りに利用者全員が浴衣で出かけた事例を発表しました。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	<b>身体拘束をしないケアの実践</b> 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	当ホームは身体拘束は行いません。職員間のミーティングで日々のケアを見直し、何気ない行為が身体拘束になっていないかなど意見交換をして確認を行っています。	「全て鍵をかけないケア」を実践していて、職員は利用者の位置を確認し、見守り、必要に応じて声かけしています。利用者の顔写真入りの「緊急時用ファイル」を作成し、万が一に備えています。言葉による拘束についても、ホーム長、主任が職員に周知しています。	
7		<b>虐待の防止の徹底</b> 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過されることがないように注意を払い、防止に努めている	管理者や職員は内、外の研修で学び、ホーム内でも研修を重ね、常に自分達のケアはどうか、ミーティングを行っています。また、互いのケアについて、気軽に意見が言えて、防止に努めるよう徹底しています。		
8		<b>権利擁護に関する制度の理解と活用</b> 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	折にふれ、制度については説明をしていますが、職員の理解について、もう少しだと感じています。しかし、現職員の中には、親族の成年後見人だった方もいます。その方から話を聞く機会があり、理解は少し深まったようです。		
9		<b>契約に関する説明と納得</b> 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	丁寧に時間をかけ、納得いくまで説明しています。また、ご家族の不安やケアに対する希望も伺い、互いに理解、納得の上、契約に到っています。		
10	6	<b>運営に関する利用者、家族等意見の反映</b> 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	ご家族の方には、訪問時や家族会で何でも言ってもらえるような雰囲気作りに努力し、こちらからも声をかけ、互いに「良いホーム作り」を目指し意見が出ればミーティングを行い、反映させています。利用者にも何でも言って頂けるように努め反映させています。	家族の訪問時には声をかけ、利用者の様子を報告し、要望を聞いています。年2回の家族会だけでなく、定期的に訪問する家族が多く、利用者を交えた家族同士の交流もあります。行事の時に家族会をやってほしいという家族からの意見を受け、行事と合わせて実施しました。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	利用者の言葉や様子、表情から気持ちを汲み取り、利用者の不安や不満があれば、その解消に努めるように努力しています。各ユニットごとに話し合いをもち、運営や日々のケアに反映させています。又、職員が意見を言いやすい雰囲気作りをしています。	朝の申し送り時や毎月のミーティングで情報を共有し、話し合いを行っています。職員からの意見を受け、音楽療法や法人のレストラン「風の音」での食事会の改善を行いました。職員は課題意識を持って日常業務に取り組んでいて、積極的に意見を言える風土が育っています。	
12		就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	ミーティングや勉強会を月1回以上行い、意見を聴いています。利用者のケアに関しては、もちろん、職員の個々の事情を把握、解決に努めています。又、職場環境には気を配り、希望を持って働けるように整備も行っています。		
13		職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	月1回の系列事業所での勉強会への参加やグループホーム連絡会の研修会、系列病院での年間研修への派遣など研修参加への機会の確保や参加実績があります。職員も積極的に参加しています。又、資格取得の支援やホーム内の研修も活発に行っています。		
14		同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	連絡会を通じ、交換研修やスタッフ研修を設けて、サービスや質の向上に取り組んでいます。また、個人的にも同業者と交流を持ち、ネットワーク作りをしています。		
<b>安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	事前面談により、生活状況はもとより、本人の不満や希望、求めている事を理解するように努力をしています。時には、本人がここに来る事を自分から望まれるまで待つ事もあります。又、体験通所を1週間位されて、十分に慣れてから入所された方もいます。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	これまでの経緯をゆっくりと聞いてあげることによって、ご家族は安心され、家族の希望や家族間の意見の違いなどもオープンに話して下さいます。それを受け止め、次の段階に繋げています。		
17		初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	柔軟な対応をとりつつ、時によっては、他の事業所のサービスにつなげたり、改善に向けての支援の提供も行っています。		
18		本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	ラッキョウ漬けや料理の下ごしらえ、洗濯物をたたんだりなど、日常の関わりの中で、自然と学び、共に支えあう関係作りや入居者の昔話などの会話を通じて、職員自ら学ぶ関係を築くようにしています。		
19		本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	当ホームの理念にもあるように、家族との結びつきを大切にしています。どんな小さな変化でもお伝えする事を心がけ、家族と同じ思いで支援していることを伝えることにしています。又、ホームの行事に家族も参加して頂き、一緒に楽しんで頂いています。		
20	8	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	一人ひとりの生活習慣を尊重し、地域にいる馴染みの友人、知人に訪問してもらったり、継続的な交流ができるように心がけています。	家族の協力のもと、自宅や旅行、外出などに出かけています。家族や地域の友人だけでなく、入居前に利用していたサービス事業所の利用者や職員が訪問する利用者もいます。利用者一人一人の得意なことを引き出すことに力を入れ、法人の系列ホームでの「ボランティア」活動で発表しています。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	皆で仲良く過ごす時間や気の合う人同士で仲良く過ごせるように気配りし、その場面づくりを働きかけています。		
22		関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	サービス利用が終了した家族の方にも時々連絡させて頂き、情報交換をするなど関係が途切れないように努めています。		

その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

23	9	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	利用者一人ひとりの希望や意向を把握し、ご家族様とも話し合いに努め意向を汲む努力をしています。記録は極力ご本人の言葉を記録するようにしています。	職員は常に利用者に問いかけ、何気ない言葉や顔色、表情、しぐさから思いや意向を把握しています。職員は入浴や散歩などに、利用者の話をゆっくり聞いています。職員の観察力を上げるため、ホーム長、主任はミーティングなどで事例をあげて指導しています。	
24		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	職員は、ひとりひとりの生活歴や今までの暮らし方を積極的に把握に努め、情報の収集、共有に努力しています。		
25		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	観察力を養い、一人ひとりを細かく見極め生活のリズムを把握することに努めています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している</p>	<p>ご本人、ご家族、職員の話し合いのなかから入居者様お一人お一人に応じた介護計画を作成しています。又、ドクターや訪問看護師の意見を反映させるように努力しています。毎月一回は一人一人のケアを見直す為、カンファレンスを行っています。</p>	<p>本人、家族の思いの把握に努め、お互いが良い方向になるよう話し合い、調整し、ケアプランに反映しています。計画の作成は原則として3ヶ月ごとですが、申し送りや個人記録をもとに、毎月のカンファレンスで職員で話し合い、必要があれば随時計画の見直しを行っています。</p>	
27		<p>個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>日常の様子観察や実際行ったケアを個別記録し、気が付いたことや工夫を職員間で情報を共有することで介護がスムーズにおこなわれるよう介護計画に生かしています。</p>		
28		<p>一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>本人やご家族、職員と必要に応じいつでもカンファレンスを行えるよう努めています。ドクターや訪問看護師の意見のすぐ反映できるよう努めています。</p>		
29		<p>地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>利用者の生活の安定や拡がりのために周囲の地域の施設から協力が得られるように理解を拡げる働きかけを行っています。今ではご近所はもちろんのこと、地域ケアプラザに出向き、生のコンサートを楽しみ、交流されています。</p>		
30	11	<p>かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>本人及びご家族の希望に添ったケアを大切にし、必要に応じてホームの協力医だけでなく希望されるかかりつけ医を利用されています。通院もご家族の対応が困難なときにはホームが対応しています。</p>	<p>グループホームが提携する内科医と精神科医が月2回、歯科医と看護師が週1回、往診しています。利用者が希望すれば、家族の同意のもとかかりつけ医を継続することができます。診療内容については家族と情報を共有しています。</p>	



自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<b>看護職員との協働</b> 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	週1回の訪問時に健康上の問題点を相談し、アドバイスを受け主治医に繋げていけるよう互いに協力しあっています。		
32		<b>入退院時の医療機関との協働</b> 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院した場合、早期退院のための話し合いや協力を家族と充分に行い、医療機関と協力し速やかな退院支援を行ってます。		
33	12	<b>重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</b> 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	早い段階でご家族やご本人と充分に話し合い、説明を行い同意を得ています。何よりご本人の気持ちを大切にしつつ家族と話し合い、利用者様が終末期を過ごしていただけるように努めています。	入居時に指針を用いて説明し、必要が生じた時には家族、本人、医療関係者と話し合い、意思を確認しています。職員に対しては、一人ひとりのケースに応じ、勉強会を行っています。医療体制、職員のメンタル面のケアなど、法人としてバックアップする体制を整えています。	
34		<b>急変や事故発生時の備え</b> 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	マニュアルを作成し勉強会を実施して対応出来る様に取り組んでいます。のどに物を詰らせるなどの事故に対しては全ての職員が対応処置が出来る様に訓練を行ってます。		
35	13	<b>災害対策</b> 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	消防署の指導により年2回の避難訓練を始め、避難経路の確認や消火器の扱い方の訓練を行っています。今年は地域の方も多数のご参加でブラインド方式夜間想定訓練を行いました。より連携を深めました。また大地震に備えて生活環境の見直しをしました。	年2回、避難訓練を実施しています。夜間想定訓練には、消防署や役所関係だけでなく、近隣住民も参加していて、地域住民とはお互いに協力しあえる関係ができています。3日分の非常食を備蓄するだけでなく、非常食を用いた献立表やミキサー食用の非常食も備えています。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	本人を傷つけないようにさりげない言葉掛けや対応をするよう勉強会で確認し合っています。プライバシーを損なうことのないよう職員は配慮しています。	職員は利用者の目線に合わせゆっくりと話しかけ、信頼関係を築くよう心がけています。また、申し送りの時の声の大きさや職員同士の会話などにも配慮しています。法人の人権、接遇研修やミーティングなどで確認するだけでなく、日常においてもお互いに気を付けています。	
37		利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	散歩の場所を決めていただいたり、飲みたいものを選んでいただいたり複数の選択肢の中から個々に選んでいただいています。		
38		日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	その人らしくを大切に守りその時々のお気持ちに寄り添い柔軟な対応を心がけています。けして無理強いせず、本人のお気持ちを一番大切にするように心がけています。		
39		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	本人で決められる方は本人にお任せしています。決められない方はご家族の意向に添うように心がけて支援をしています。散髪は定期的にされ、外のお気に入りの美容院に出向く方もいらしゃいます。		
40	15	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者同士の間関係に配慮し、座席を決定しています。食事の時間も楽しく過ごして頂けるような工夫をしています。	固さや大きさに配慮し、利用者が食べやすく季節感のある食事を提供しています。利用者はもやしの芽とりや豆のさやむきなどの準備や配膳、片付けの手伝いを積極的に行っています。法人のレストラン「風の音」だけでなく回転ずしや喫茶店などにも出かけています。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<b>栄養摂取や水分確保の支援</b> 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	彩りよく3品以上配膳し、水分は1日1300ccを目標に摂っていただいています。栄養のバランスやカロリー計算は定期的に栄養士さんに見ていただいています。		
42		<b>口腔内の清潔保持</b> 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	一人ひとりの口の中の状態に応じて、ご自身でされる方や職員がケアする方などまちまちですが、それぞれの方にふさわしいケアを心がけています。週1回は訪問歯科が口腔ケアを行っています。		
43	16	<b>排泄の自立支援</b> 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	一人ひとりの排泄パターンを把握し時間で誘導したり声かけをし、出来るだけトイレでしていただけるように努力しています。	利用者の排泄パターンを把握し、急に立ち上がったり、そわそわしたりした時に「ちょっとお誘い」などと声かけし、トイレに案内しています。リハビリパンツやパットを使用中の利用者も排泄の自立を試みています。現在パットやリハビリパンツの減少を目指し支援しています。	
44		<b>便秘の予防と対応</b> 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	毎日1回はおやつに牛乳とバナナを摂って頂き便秘予防をしています。それでも困難な方には腹部マッサージをしたり、ウォーキングや散歩を勧めています。		
45	17	<b>入浴を楽しむことができる支援</b> 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている	誘導の方法や、タイミングを計って誘うことにより気持ち良く入浴していただいています。私達の都合に合わせておくまでも入居者さまにあわせてお勧めしています。	入浴は利用者が選択しますが基本的に1日おきに入浴し、外出で汗をかいた時などはいつでも入れます。入浴拒否の方には声かけの工夫をして、清拭だけでも実行します。柚子、バラ、ラベンダーなどの特別風呂もあり、重度の方には同一法人の訪問入浴サービスを提供しています。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	レクリエーション活動を取り入れながら一人ひとりの生活リズムに合わせて休息出来る様に支援しています。そのかたの習慣や思いを大切に無理強いはしないように勧めています。		
47		服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬の処方箋を指定の場所に保管をして内容を把握出来る様にしています。服薬時は袋の名前を確認 名を呼び返事を求め（出来る方は） もう一度袋の名前を確認するなど3段階を徹底しています。		
48		役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	一人ひとりが洗濯物干しや、洗濯物たたみ、掃除、ゴミだし、料理の盛り付け、食器洗いなどを通して喜びを感じられるよう支援し、力を発揮していただき職員も感謝の気持ちを伝えるようにしています。		
49	18	日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	天候や本人の体調や希望に合わせて散歩、外食、買い物、他のグループホームとの交流会など出掛けてます。時々家族の下で外泊されてもいます。月2回送迎バスを利用し、音楽療法にも出掛ける機会があります。	愛犬ショコラと朝夕2回の散歩、買物ではご自分で商品を選びます。ホーム専用の車で映画を鑑賞後、食事、会話を楽しんでいきます。阿久和地域プラザには2ヶ月に1回フルーツ&ピアノコンサートなどを聴きに出かけ、手作りのお茶をご馳走になっています。	
50		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	ご家族よりお子遣いを預かっていて、外出時や外食時に自身で支払い領収書をお子遣い帳に貼り、残高を確認する支援を行っています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	希望によりいつでも電話をかけていただいたり、手紙、はがきなども出していただけるように配慮しています。ご家族に対しては、気軽に電話が出来る雰囲気づくりに努力しています。		
52	19	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	季節の料理やおやつ、ひな祭り、菖蒲湯、クリスマス飾りなど季節感を取り入れる工夫をし利用者様が穏やかに過ごせるよう環境に配慮しています。	リビング、廊下の壁面には外出先の光景利用者の笑った顔や原小学校の子供たちの感謝の言葉が飾られています。リビングにはテーブルとは別に二人用のいすと机があります。食事の席を決める時には気のあった、じっくりいく相手と並ぶようなことができるだけの配慮をしています。	
53		共用空間における一人ひとりの居場 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	リビングに椅子やソファを置き仲の良い利用者様同士でくつろげるように配慮されています。		
54	20	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	ご本人、ご家族の方と相談しながら馴染みの物や家具を選んでもらい心地よく過ごしてもらおう工夫をしています。思い出での写真なども飾っていただいています。	毎朝利用者と一緒に掃除をします。また、1日3回居室の換気をします。ご自分の部屋らしく家族の写真、好きな花、フランス人形、仏壇など、使い慣れた物を持ち込まれています。春、原小学校の正門前の桜が咲いたら部屋から写真を撮って部屋に飾って欲しいとのリクエストも対応しています。	
55		一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	建物内部は一人ひとりの残存機能を活かし、できるだけ自立した生活が送れるように工夫されています。職員は常に安全に配慮し点検や気配りをしています。		

事業所名	グループホームほのぼの
ユニット名	なごみ

アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23,24,25)		1, ほぼ全ての利用者の
			2, 利用者の2/3くらいの
			3. 利用者の1/3くらいの
			4. ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18,38)		1, 毎日ある
			2, 数日に1回程度ある
			3. たまにある
			4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)		1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36,37)		1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30,31)		1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)		1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9,10,19)		1, ほぼ全ての家族と
			2, 家族の2/3くらいと
			3. 家族の1/3くらいと
			4. ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9,10,19)		1, ほぼ毎日のように
			2, 数日に1回程度ある
			3. たまに
			4. ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1, 大いに増えている
			2, 少しずつ増えている
			3. あまり増えていない
			4. 全くいない
66	職員は、活き活きと働けている。 (参考項目：11,12)		1, ほぼ全ての職員が
			2, 職員の2/3くらいが
			3. 職員の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1, ほぼ全ての家族等が
			2, 家族等の2/3くらいが
			3. 家族等の1/3くらいが
			4. ほとんどいない

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>理念に基づく運営</b>					
1	1	<b>理念の共有と実践</b> 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	入職時に理念を理解してもらい、理念に添ったケアを行うことの確認をしています。また問題点が出た時には、その都度、ミーティングを行い、意思を確認し、改善すべき点は、速やかに改善しています。		
2	2	<b>事業所と地域とのつきあい</b> 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	アイシマ主催のふれあい祭りには、ご近所の方が来て下さり、ホームも地域の敬老会、運動会、町内の旅行等に参加しています。原小学校2年生の授業では、当ホームとの交流があり、子供達が気軽に来てくれます。		
3		<b>事業所の力を活かした地域貢献</b> 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	原小学校の生徒さんには発表の場として提供したり、自治会関係の方には、高齢者や認知症への理解を深めたり、支援の方法の発信を行っています。		
4	3	<b>運営推進会議を活かした取組み</b> 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議での意見等は、おおいに参考にさせて頂き、又、今後の課題に対しては前向きに取り組んでいます。会議では地域に飛出し、利用者に生きがいを感じてもらおう試みとして、ボランティア活動を行っている事を発表しています。		
5	4	<b>市町村との連携</b> 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	運営推進会議にて、地域包括センターの職員に利用者の実情を見ていただき、ご相談や意見をお聞きし、ホームの運営に役立てています。今年は盆踊りに着る浴衣の調達をお願いし、利用者は浴衣で盆踊りに参加しました。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	<p>身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	<p>当ホームは身体拘束はおこないません。職員間のミーティングで日々のケアの見直し、何気ない行為が身体拘束になっていないかなど、意見交換をし確認をしています。</p>		
7		<p>虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>管理者や職員は内外の研修で学び、ホーム内でも研修を重ね常に自分たちのケアはどうか、ミーティングを行っています。又、互いのケアについて気軽に意見が言えて防止に努めるよう徹底しています。</p>		
8		<p>権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している</p>	<p>折にふれ、制度については説明をしていますが、職員の理解について、もう少しだと感じています。しかし、現職員の中には、親族の成年後見人だった方もいます。その方から話を聞く機会があり、理解は少し深まったようです。</p>		
9		<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>丁寧に時間をかけ、納得いくまで説明しています。また、ご家族の不安やケアに対する希望も伺い、互いに理解、納得の上、契約に到っています。</p>		
10	6	<p>運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>ご家族の方には、訪問時や家族会で何でも言ってもらえるような雰囲気作りに努力し、こちらからも声をかけ、互いに「良いホーム作り」を目指し意見が出ればミーティングを行い、反映させています。利用者にも何でも言ってもらえるように努め反映させています。</p>		



自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	利用者の言葉や様子、表情から気持ちを汲取り、利用者の不安や不満があればその解消に努めるようにしています。各ユニット毎に話し合いをもち、運営や日々のケアに反映しています。又職員が意見を言いやすい雰囲気作りをしています。		
12		就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	ミーティングや勉強会を月1回以上行い、意見を聴いています。利用者のケアに関しては、もちろん、職員の個々の事情を把握、解決に努めています。又、職場環境には気を配り、希望を持って働けるように整備も行っています。		
13		職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	月1回の系列事業所での勉強会への参加やグループホーム連絡会の研修会、系列病院での年間研修への派遣など参加実績があります。職員も積極的に参加しています。又資格取得の支援やホーム内研修も活発に行っています。		
14		同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	連絡会を通じ、交換研修やスタッフ研修を設けて、サービスや質の向上に取り組んでいます。また、個人的にも同業者と交流を持ち、ネットワーク作りをしています。		
<b>安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	事前面談により、生活状況はもとより、本人の不満や希望、求めている事を理解するように努力をしています。時には、本人がここに来る事を自分から望まれるまで待つ事もあります。又、体験通所を1週間位されて、十分に慣れてから入所された方もいます。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	これまでの経緯をゆっくりと聞いてあげることによって、ご家族は安心され、ご家族の希望や家族間の意見の違いなどもオープンに話をして下さいます。それを受け止め、次の段階に繋げています。		
17		初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	柔軟な対応をとりつつ、時によっては、他の事業所のサービスにつなげたり、改善に向けての支援の提供も行っています。		
18		本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	ラッキョウ漬けや料理の下ごしらえ、洗濯物をたたむなど、日常の関わりの中で、自然と学び、共に支えあう関係作りや入居者の昔話などの会話を通じて、職員自ら学ぶ関係を築くようにしています。		
19		本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	当ホームの理念にもあるように、ご家族との結びつきを大切にしています。どんな小さな変化でもお伝えする事を心がけ、ご家族と同じ思いで支援している事を伝えています。又ホームの行事に家族も参加し一緒に楽しまれています。		
20	8	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	一人ひとりの生活習慣を尊重し、地域にいる馴染みの友人、知人に訪問してもらったり、継続的な交流ができるように心がけています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	みんなで仲良く過ごす時間や気の合う人同士で仲良く過ごせるように気配りし、その場面作りを働きかけていますので、互いに助け合っている姿も良く見かけ、職員が介入しなくても交流でき、笑い声が響いています。		
22		関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	サービス利用が終了したご家族の方にも時々連絡させていただき、街で見かけたときはご挨拶をし、関係が途切れないように努めています。又、必要に応じて情報提供も行っています。		
<b>その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	9	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	入居者との日々の関わりを通し、入居者一人ひとりの希望や意向の把握に努めています。介護記録は入居者様の言葉をそのまま記録し、又、時間が許す限り入居者さまとお話をしています。		
24		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ご家族から入居時に詳しく情報をいただきさらに本人の話し、又、知人等が訪問された時など生活歴や馴染みの暮らし方等の情報を得る努力に努めています。		
25		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	入居者の一日を通して出来ることや出来ないことを見極め、一人ひとりの生活のリズムを理解し全体像の把握に努めています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している</p>	<p>本人、家族、職員の話合いの中から入居者それぞれに応じた介護計画を作成しています。特にご本人やご家族の思いはDrや訪問看護に意見を反映させるよう努めています。毎月一回は一人一人のケアを見直す為カンファレンスを実施しています。</p>		
27		<p>個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>毎月のミーティングや日々のカンファレンスにおいて課題を検討し必要に応じて介護計画の見直しを行っています。身体状況が変化したときは計画を見直し内容を変更して作成しています。</p>		
28		<p>一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>状況の変化や要望を把握し、本人やご家族の意向を確認しながら日々のたいようや外出、外泊等柔軟に対応しています。</p>		
29		<p>地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>入居者様の生活の安定や拡がりのために、周辺の地域の諸施設から協力を得られるように理解を拡げる働きかけを行っています。地域ケアプラザに出向き生のコンサートを楽しみ、交流されています。</p>		
30	11	<p>かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>入居時に本人及びご家族の希望に添って主治医を決め、必要に応じてホームの協力医や希望のかかりつけ医を利用されています。通院もご家族が困難な場合はホームが支援しています。</p>		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<b>看護職員との協働</b> 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	毎週定期的に訪問看護師が来所し、気軽に相談し健康管理や、より良い医療活用についてアドバイスを受け、互いに協力をし支援しています。		
32		<b>入退院時の医療機関との協働</b> 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	早期退院に向け病院との話し合いを充分に行い、ご家族の意向も重視し速やかな退院支援を行っています。又、医療機関主催による講演会にも積極的に参加し関係作りに努めています。		
33	12	<b>重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</b> 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	特に重度化された場合のホームとしての対応について説明や同意が得られています。出来るだけ早い段階でご家族への働きかけを行い、状況変化に応じた繰り返しの確認を行いご家族の希望に沿った支援体制をとっています。		
34		<b>急変や事故発生時の備え</b> 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	マニュアルを作成し、勉強会を実施して対応できるように取り組んでいます。『のどに物を詰まらせる』などの事故に対しては、全ての職員が対応処置出来る様に訓練を行っています。		
35	13	<b>災害対策</b> 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	消防署の指導による避難訓練は通常通り年2回実施。今年は震災の影響もあり、大規模な地震に備え非常食の確保や大型家具の固定を見直しました。又地域の方も夜間想定訓練には多数参加していただき、連携を深めました。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	一人一人の人格を尊重し、敬い、又、プライバシーを守りつつ、言葉かけや接し方に充分注意をはらっています。勉強会も行い互いに確認し合い向上に努めています。		
37		利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	日常生活の中でお出掛けの時の洋服をご自分でえらんだり、外出先を決めていただけるように支援しています。又、日々の情報の中から利用者が希望する映画「コリコ坂から」を観賞しに行きました。		
38		日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	レクリエーションや散歩のコース等その時々のお気持ちを大切に、職員はその気持ちに沿っていくように努めています。		
39		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	他のホームとの交流会や小学生の訪問時は口紅をつけたり、服の色合いを気にしたり、おしゃれをする手助けを行っています。散髪は2ヶ月に1度行っています。		
40	15	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事が楽しみなものになるように利用者同士の関係を配慮し、食卓の座席配置にも充分気を配り、盛り付けや片付けも入居者と共に行い、嗜好の情報収集に役立てています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>食事や水分摂取状況を毎日チェック表に記録し職員が常にわかるようにしています。体調に合わせ、おかゆやミキサーにするなど個々に合わせて支援しています。また彩りよく3品以上。水分は1300ccを目標摂取としています。</p>		
42		<p>口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている</p>	<p>毎食後声掛けにて歯みがきを行っていただき、一人で出来ない方には職員が介助しています。週に一回の訪問歯科の口腔ケアも受けています。</p>		
43	16	<p>排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている</p>	<p>排泄チェック表を活用したり、排泄パターンを把握し時間を見計らって誘導することによりトイレで排泄出来るように支援しています。</p>		
44		<p>便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる</p>	<p>便秘対策として、10時のおやつに牛乳とバナナを召し上がって頂き、全員、毎日または一日おきに便通があり「便秘知らず」のホームとして誇りを持っています。水分量や運動も個々に応じ取り組んでいます。</p>		
45	17	<p>入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている</p>	<p>時間帯は本人の意志を尊重しています。又、一人ひとりどのタイミングでどのように誘えば喜んでいただけるか考えて取り組んでいます。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	活動を取り入れながら、生活リズムにあわせて休息出来る様に支援しています。一人一人の習慣や思いを大切に無理強いはしないように勧めその方のペースにあわせています。		
47		服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬局からの薬の説明書を指定の場所に保管して内容を把握出来る様にしています。服薬時は袋の名前を確認 名前を呼び返事を求め（出来る方は） もう一度袋の名前を確認する3段階構えを徹底しています。		
48		役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	一人ひとりが役割を持ち、生き生きと生活出来る様に個々を見極め支援しています。洗濯物干し（たたみ）掃除や台所の洗い物、さらに等さらに玄関先のお客様の接客まで多彩にわたってます。それに対し、職員も感謝の気持ちを伝えるようにしています。		
49	18	日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	天候や本人の希望、体調に合わせて散歩、買い物等へ外出しています。今年初の試みとして映画鑑賞をし、季節の洋服の買物をして帰所しました。また自宅への外泊や家族旅行に行かれるよう随時支援をしています。		
50		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	実際に購入が出来る方に関しては職員と共に購入しに行き、精算もご自身でしていただいています。その領収書をホームに持ち帰り、職員が小遣い帳に記入しご家族に確認していただいています。		



自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	希望により自由に電話をかけていただいたり、友人との手紙のやり取りが出来る様に配慮しています。季節の便りや年賀状を出される方も支援を行い出していただいています。		
52	19	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	茶碗を洗う音、御飯の炊ける匂い、心地よい音楽、季節の料理やおやつ、ゆず湯や菖蒲湯など・・・季節感を取り入れる工夫をし、入居者が穏やかに過ごせるよう環境に配慮しています。		
53		共用空間における一人ひとりの居場 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	玄関、テラス、リビング等に椅子やソファを置き、一人になりたいときや仲の良い利用者同士で話しをしたい時に利用されています。		
54	20	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	ご本人やご家族の方と相談しながら馴染みの物や家具を運んでもらい心地よく過ごしてもらおう工夫をしています。又、ご家族との思い出の写真等も飾って頂いています。仏壇を持ち込まれ、毎日お水を供えて供養できる支援も行っています。		
55		一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	建物内部は、一人ひとりが安全に自立した生活が送れるように工夫され、職員は常に安全に気を配り点検や見回りを行っています。		

### 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。  
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1		利用者様の笑顔を増やし、高齢であっても、認知が進行しても、心穏やかに普通の暮らしが当たり前のように継続していかれるように支援します。	来る7月の地域の盆踊り大会で再び浴衣を着て参加し、約束どおり櫓の上で瀬谷音頭を披露させていただきます。	櫓の上に登れるだけの体力、又、脚力を維持する為に日々の体操や散歩を継続して行い、加齢や認知の進行に負けないように地域の方々との交流を勧めてまいります。	7ヶ月
2			アイシマ以外の他の法人のホームを訪問し交流を図りボランティア活動の幅を広げ、利用者様の生きがいにつなげて生きます。	出し物の充実を図るために、新しい踊りや歌に挑戦し、そのために職員が勉強しつつ他の法人と連絡を密にし実現に向け働きかけていきます。	7ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目の を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。